

最新入試情報解説！2025年度入試のポイント

河合塾

大学公表資料からみる2025年度入試

河合塾

大学入学共通テストの変更点

教科	出題科目	解答時間	配点	備考
外国語	英語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	80分	200点	1科目を選択 英語はリーディングで別途リスニング (解答時間30分)を実施(配点は各100点)
数学①	数学Ⅰ 数学Ⅰ,数学A	70分	100点	1科目を選択
数学②	数学Ⅱ,数学B,数学C	70分	100点	
国語	国語	90分	200点	近代以降の文章110点、古文45点、漢文45点
理科	物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎 物理 化学 生物 地学	1科目 60分	1科目 100点	④ 近代以降の文章の大問追加と配点変更 最大2科目選択可
地理歴史 ・公民	地理総合/歴史総合/公共 地理総合,地理探究 歴史総合,日本史探究 歴史総合,世界史探究 公共,倫理 公共,政治・経済	1科目 60分	1科目 100点	⑤ 理科①②の試験時間一本化 最大2科目選択可 (組み合わせ制限あり)
情報	情報Ⅰ	60分	100点	① 教科「情報」の出題

③ 数学②・国語
試験時間
10分延長

② 新課程に対応
した出題科目

④ 近代以降の文章の大問追加と配点変更

⑤ 理科①②の試験時間一本化

① 教科「情報」の出題

共通テスト時間割

	1 日目	2 日目
9:30	9:30※～11:40 (130分) 地理歴史・公民 (2 科目) ※ 1 科目受験者は10:40～	9:30※～11:40 (130分) 理科 (2 科目) ※ 1 科目受験者は10:40～
13:00	13:00～14:30 (90分) 国語	13:00～14:10 (70分) 数学①
	15:20～16:40 (80分) 外国語	15:00～16:10 (70分) 数学②
	17:20～18:20 (60分) 英語リスニング	17:00～18:00 (60分) 情報

※大学入試センター資料より作成

©Kawaijuku Educational Institution. 3

共通テスト「理科」時間割の変更

- 2024年度までは試験時間が分かれていた理科①・理科②を同一時間帯で実施

2024年度

基礎科目と4単位科目が別時間帯

理科①	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」
------------	--------------------------------------

2科目必須／試験時間60分／
各50点2科目計100点

理科②	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」
------------	------------------------------

最大2科目選択可※
1科目100点
試験時間1科目60分

※2科目を選択する場合、解答順に第1解答科目及び第2解答科目に区分し各60分間で解答

2025年度

理科は全科目同一時間帯で実施

理科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」
-----------	---

最大2科目選択可※
1科目100点
試験時間1科目60分

※『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」の4つを出題範囲としそのうち2つを選択解答(配点は各 50 点)

※2科目を選択する場合、解答順に第1解答科目及び第2解答科目に区分し各60分間で解答

©Kawaijuku Educational Institution. 4

共通テスト 旧課程履修者への経過措置

- 経過措置による出題科目（旧課程生はいずれの科目も選択できる）

教科	科目		試験時間
数学	①	「旧数学Ⅰ・旧数学Ⅱ」「旧数学Ⅲ」	70分
	②	「旧数学Ⅳ・旧数学Ⅴ」「旧数学Ⅵ」 「旧簿記・会計」「旧情報関係基礎」	70分
地理歴史	「旧世界史Ⅰ」「旧世界史Ⅱ」「旧日本史Ⅰ」「旧日本史Ⅱ」 「旧地理Ⅰ」「旧地理Ⅱ」		1科目 60分
公民	「旧現代社会」「旧倫理」「旧政治・経済」 「旧倫理, 旧政治・経済」		
情報	「旧情報」		60分

数学①②では新旧を組合わせて選択できるが、地歴、公民は新旧の科目を組み合わせることはできない（出願時に新旧どちらを受験するか申請）

- 理科
必要に応じて、旧課程履修者が選択可能な問題を出題する場合があります
- 情報
「旧情報」では、高等学校等において「社会と情報」「情報の科学」のいずれの科目を履修していても不利益が生じないよう、**両科目の共通部分に対応した必答問題**に加え、**「社会と情報」に対応した問題及び「情報の科学」に対応した問題を出題し、選択解答**させる

※大学入試センター資料より作成

共通テスト 得点調整の対象教科・科目

- 同一教科内の科目の平均点に大きな差が生じた場合に実施
 - ・ 2025年度は、新課程科目と旧課程履修者への経過措置科目間も調整の対象
 - ・ 対象科目間で①または②の平均点差が生じ、これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合
 - ① **20点以上**の平均点差が生じた場合 ② **15点以上**の平均点差が生じ、かつ**段階表示の区分点差が20点以上**生じた場合

※受験者1万人未満の科目は対象としませんが、情報Ⅰと旧情報はいずれかの受験者数が1万人未満であっても得点調整の対象とする

2025年度共通テスト 得点調整対象教科・科目

教科	新課程科目	経過措置科目
数学①	「数学Ⅰ, 数学Ⅱ」	「旧数学Ⅰ・旧数学Ⅱ」
数学②	「数学Ⅲ, 数学Ⅳ, 数学Ⅴ」	「旧数学Ⅲ・旧数学Ⅳ」
理科	「物理」「化学」「生物」「地学」	—
地理歴史	「地理総合, 地理探究」 「歴史総合, 日本史探究」 「歴史総合, 世界史探究」	「旧地理Ⅱ」 「旧日本史Ⅱ」 「旧世界史Ⅱ」
公民	「公共, 倫理」 「公共, 政治・経済」	「旧現代社会」「旧倫理」 「旧政治・経済」 「旧倫理, 旧政治・経済」
情報	「情報Ⅰ」	「旧情報」

※大学入試センター資料より作成

各教科の得点調整対象外となる科目

・数学① 「数学Ⅰ」 「旧数学Ⅰ」	・数学② 「旧数学Ⅲ」 「旧簿記・会計」 「旧情報関係基礎」
・地理歴史・公民 「地理総合/歴史総合/公共」 「旧地歴Ⅰ科目」	・理科 基礎を付す科目

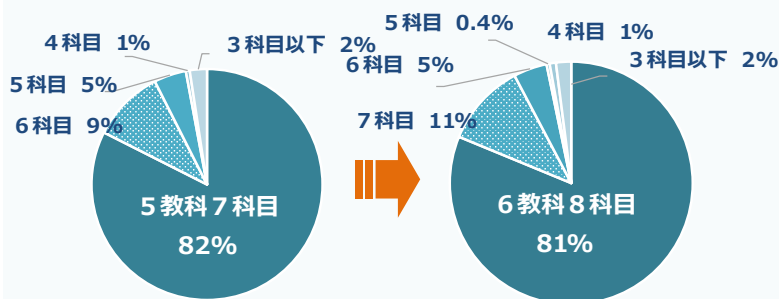
国公立大 共通テスト教科・科目数設定状況の変化

- ・国立大では多くが5教科7科目から6教科8科目に移行
- ・公立大は2024年度までの教科・科目数を維持する大学があり、6教科8科目は約2割

国立大学

2024年度

2025年度

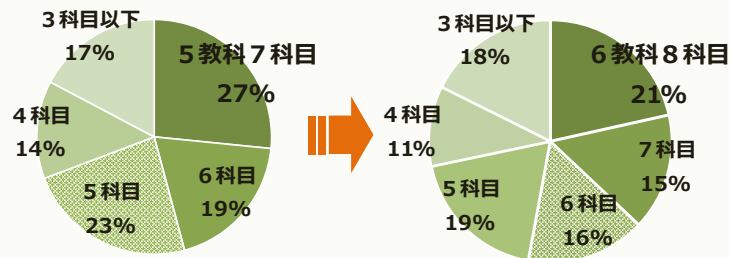


※河合塾調べ、数値は2024年8月現在、一般選抜（前期日程）で集計

公立大学

2024年度

2025年度

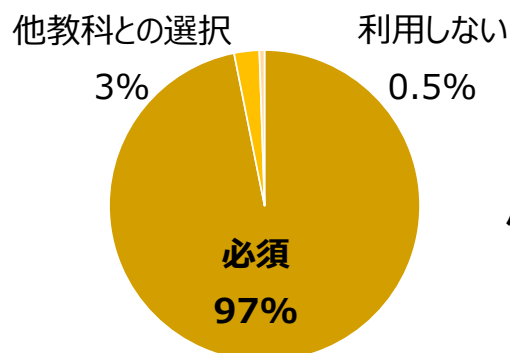


©Kawaijuku Educational Institution. 7

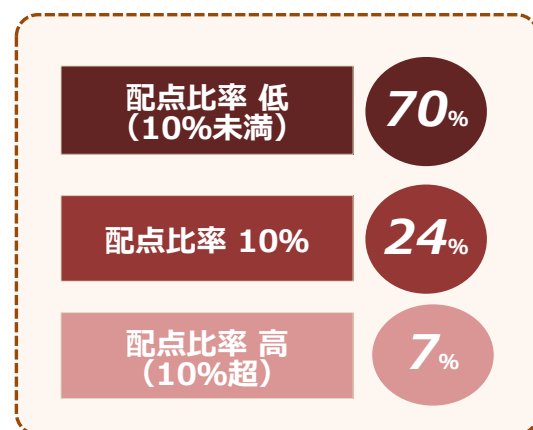
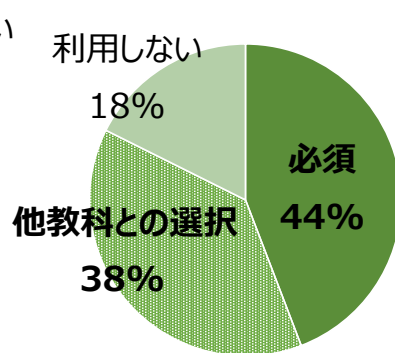
国公立大 共通テスト「情報Ⅰ」の設定状況

- ・国立大ではほぼ「情報Ⅰ」必須。選択・課さない大学は一部にとどまる
- ・公立大は対応分かれる。少数教科を課すところは選択科目とするケースが多い
- ・6教科8科目を課す大学の総合点は素点で1000点。情報Ⅰ（100点）の配点比率は10%となる。
- ・情報Ⅰを点数化して利用する大学では、配点比率**10%未満**の大学が多い。

国立大学



公立大学



※河合塾調べ、2024年8月現在、一般選抜（前期日程）で集計、配点比率は共通テスト6教科8科目を課す募集区分で集計

©Kawaijuku Educational Institution. 8

国公立大 共通テスト「情報Ⅰ」の配点比

全体			
	国立大	公立大	全体
配点比が低い（10%未満）	70%	68%	70%
10%（素点利用）	24%	22%	24%
配点比が高い（10%を上回る）	6%	10%	7%

学部系統別	文・人文	社会科学	教員養成	理	工	農	医	歯	薬	看護	その他
配点比が低い（10%未満）	90%	61%	61%	81%	71%	68%	78%	80%	80%	58%	67%
10%（素点利用）	7%	27%	34%	19%	16%	20%	20%	20%	20%	42%	21%
配点比が高い（10%を上回る）	2%	12%	5%	0%	12%	12%	1%	0%	0%	0%	11%

地区別	北海道	東北	関東甲信越	東海北陸	近畿	中国四国	九州
配点比が低い（10%未満）	91%	82%	59%	78%	73%	70%	61%
10%（素点利用）	9%	10%	31%	18%	16%	29%	35%
配点比が高い（10%を上回る）	0%	8%	9%	4%	11%	1%	5%

※河合塾調べ、2024年8月現在，一般選抜（前期日程）で6教科8科目を課す募集区分で集計

国公立大 共通テスト「情報Ⅰ」の扱い

受験は必須の大学の中には、教科増の影響を最小限にとどめる大学も

北海道大：得点化はしない。合否判定時に成績同点者の順位決定の際、共通テスト「情報」の成績を活用する。

公立はこだて未来大：情報は必須だが、合否判定には理科2科目と情報のうち高得点の2科目を利用する。

筑波大：2027年度までは全員に一律に点数を与え、その点数に実際の得点を一定の割合で圧縮した点数を加えたものを得点として利用する。

徳島大：2026年度までは「総合判定の参考」とする。

香川大：共通テスト・個別学力検査等の成績の総合点が同点の場合の順位決定にあたり、共通テスト「情報Ⅰ」の成績を活用する。

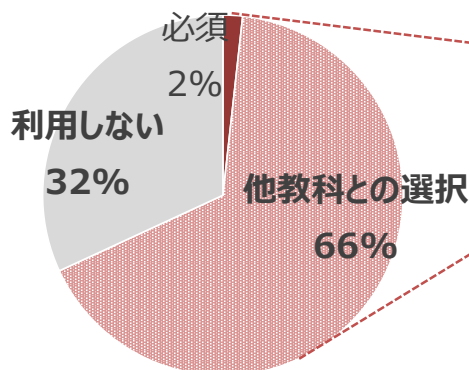
高知大：一部の学部では、合否境界上で同順位となった者に対する判定にのみ利用する。

※河合塾調べ、一般選抜（前期日程）で調査

私立大 共通テスト「情報Ⅰ」の設定状況

- ・私立大は全体の3分の1が「情報Ⅰ」を利用しない。また、利用する大学も他教科との選択がほとんど。
- ・大学グループ別の設定状況をみると、首都圏のグループは全体に比べ「情報Ⅰ」を利用しない傾向がやや高い一方、近畿圏は「関関同立」「摂神追桃」で利用する割合がやや高くなっている。

私立大学



※河合塾調べ、2024年8月現在、一般選抜で共通テストを利用する方式で集計

大学グループ別 共テ「情報」設定状況

		選択肢		
		利用する		利用しない
		必須	選択	
大学計		2%	66%	32%
首都圏	早慶上理	0%	28%	72%
	MARCH	0%	42%	58%
	成成明國武	0%	79%	21%
	日東駒専	0.5%	80%	20%
	首都理系10大学	9%	43%	48%
	首都女子14大学	0%	60%	40%
近畿	関関同立	10%	65%	25%
	産近甲龍	0.5%	50%	50%
	摂神追桃	0%	92%	8%
その他の大学		1%	70%	29%

©Kawaijuku Educational Institution. 11

大学個別試験「情報」の出題状況

● 国公立大

- ・3大学が一般選抜の個別試験（2次）で教科「情報」を出題
- ・このうち、教科「情報」を必須で課すのは広島市立大－後期のみ
- ・出題範囲は3大学とも「情報Ⅰ」まで

● 私立大

- ・49大学が一般選抜の個別試験で教科「情報」を出題
- ・ただし、他教科との選択としているケースがほとんどで、「情報方式」のような専用の枠を設けるケースはわずか
- ・出題範囲は慶應義塾大、東京都市大、武蔵野大の3大学は「情報Ⅰ」「情報Ⅱ」としているが、その他の大学は国公立大と同様、「情報Ⅰ」まで

教科「情報」を出題する大学

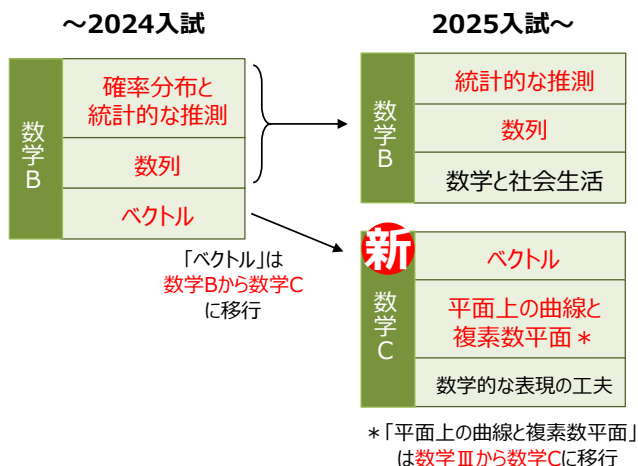
国公立	大学	学部－学科等	日程
	電気通信	情報理工	前期
	広島市立	情報科学	後期
	高知	理工－情報科学	前期
私立	大学	学部	
	東北学院	全学部	
	麗澤	全学部	
	慶應義塾	総合政策、環境情報	
	東京都市	理工、情報工など	
	東洋	情報連携	
	武蔵野	全学部（薬、看護を除く）	
	南山	理工、情報工など	
	関西国際	全学部（国際コミュ除く）	
	徳島文理	文、総合政策、理工など	

※河合塾調べ（8月現在）
※一部の学部・学科・入試日程で実施する大学を含む

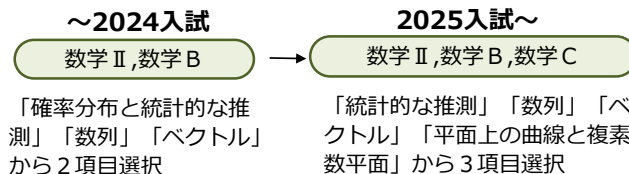
©Kawaijuku Educational Institution. 12

数学の科目構成変化による出題範囲の変化

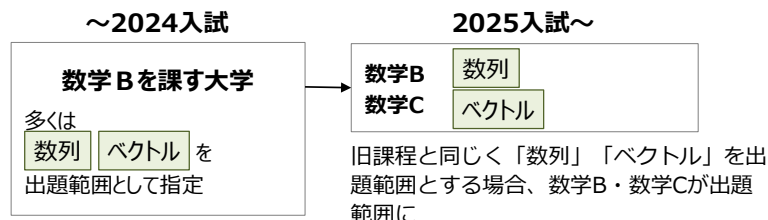
数学B・数学Cの科目構成の変化



共通テスト数学②

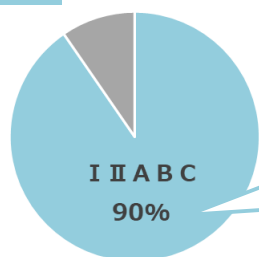


大学個別試験



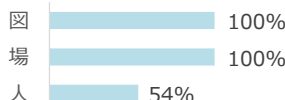
国公立大 2次試験「数学」の出題範囲・分野

文系学部

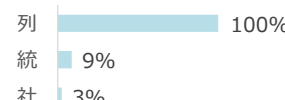


- 2次で数学を課す文系学部において、**90%**の募集区分が「数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・C」を課す。
- このうち、数Aの「図形の性質」「場合の数と確率」、数Bの「数列」、数Cの「ベクトル」はほとんどの大学が出題範囲としている。数Aの「数学と人間の活動」は約半数の募集区分で出題範囲としている。

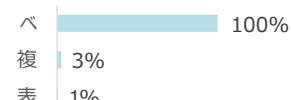
数Aの出題状況



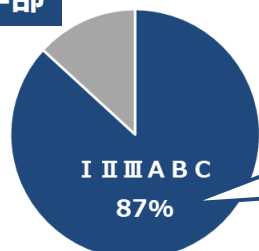
数Bの出題状況



数Cの出題状況

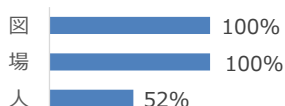


理系学部

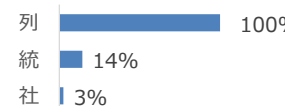


- 2次で数学を課す理系学部において、**87%**の募集区分が「数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C」を課す。
- 出題分野は概ね文系学部と同じである。加えて理系学部の場合、数Cの「平面上の曲線と複素数平面」が出題される。

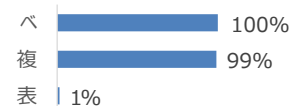
数Aの出題状況



数Bの出題状況



数Cの出題状況



※河合塾調べ（前期日程で集計）、文系：「文・人文」「社会・国際」「法・政治」「経済・経営・商」、理系：「理」「工」「農」

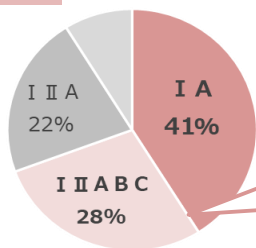
数学A 図：図形の性質 場：場合の数と確率 人：数学と人間の活動

数学B 列：数列 統：統計的な推測 社：数学と社会生活

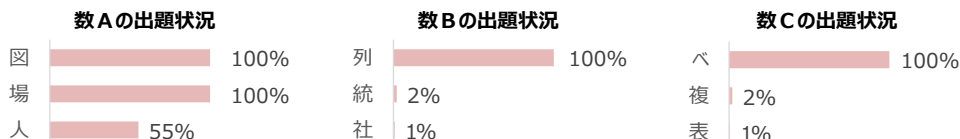
数学C ベ：ベクトル 複：平面上の曲線と複素数平面 表：数学的な表現の工夫

私立大 個別試験「数学」の出題範囲・分野

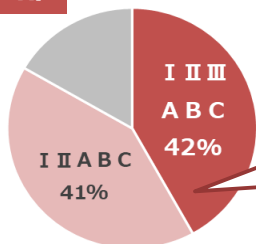
文系学部



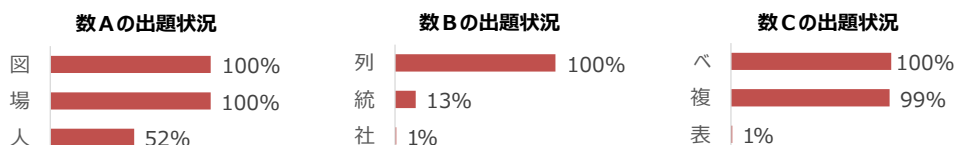
- 2次で数学を課す文系学部のうち、「数学 I・A」を課す募集区分が**41%**と最多。次点で「数学 I・II・A・B・C」を課す募集区分が**28%**となった。
- 「数学 I・II・A・B・C」を課す大学の出題分野の状況は概ね国公立大（文系）と同様となった。



理系学部



- 2次で数学を課す理系学部のうち、「数学 I・II・III・A・B・C」を課す募集区分が**42%**、「数学 I・II・A・B・C」を課す募集区分が**41%**となっており、状況は分かれている。
- 「数学 I・II・III・A・B・C」を課す大学の出題分野の状況は概ね国公立大（理系）と同様となった。



※河合塾調べ（前期日程で集計）、文系：「文・人文」「社会・国際」「法・政治」「経済・経営・商」、理系：「理」「工」「農」

国公立大 共通テスト「地歴公民」の設定状況

- 「地理総合/歴史総合/公共」は**72%**の募集区分で利用可能
ただし、難関大、医学科では認めない大学が多い

「地理総合/歴史総合/公共」は**利用不可**の大学例

難関10大（北海道大、東北大、東京大、東京科学大*、一橋大、名古屋大、京都大、大阪大、神戸大、九州大）

* 東京科学大の医学部看護学専攻、歯学部口腔保健学科を除く

医学科（秋田大、福島県立医科大、群馬大、福井大、岐阜大、三重大、京都府立医科大、島根大、岡山大学、広島大、熊本大、鹿児島大 など）

- 公民科目（「公共，倫理」「公共，政治・経済」）利用不可の大学はほとんどみられない**

旧課程では難関大を中心に、公民の一部科目が選択できない大学があるが、新課程ではほとんどの大学で公民の2科目とも利用できる

例)東京大の地歴公民の選択科目(旧課程▶新課程)

「地理B」「日本史B」「世界史B」
「倫理,政治・経済」



「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」
「歴史総合，世界史探究」
「公共，倫理」「公共，政治・経済」

※河合塾調べ（2024年8月現在）、前期日程で集計

私立大 共通テスト「地歴公民」の設定状況

・「地理総合/歴史総合/公共」は**81%**の募集区分で利用可能

ただし、難関大では認めない大学も

「地理総合/歴史総合/公共」は利用不可の大学例

國學院大（法）、上智大、成蹊大（文、経済）、順天堂大（医）、中央大（法、総合政策、国際経営、商（フレックス））東京農業大、日本大（商）、明治大（経営以外）、明治学院大、南山大、京都女子大、同志社大（グローバル地域文化、経済）、立命館大、追手門学院大、関西大、近畿大 など

・「地理総合/歴史総合/公共」は同じ大学内で利用可と利用不可の学部・学科、方式が混在しているケースも

例）早稲田大の「地歴公民」の設定状況－「地理総合/歴史総合/公共」以外も設定が混在

「地理総合/歴史総合/公共」は利用不可：教育、社会科学（共テ利用）、法、政治経済、スポーツ科学、人間科学

「地理総合/歴史総合/公共」「公共、倫理」は利用不可：社会科学（共テ併用）

「地理総合、地理探究」「公共、倫理」「公共、政治・経済」：文、文化構想

「地理総合、地理探究」「歴史総合、日本史探究」「歴史総合、世界史探究」：国際教養

※河合塾調べ、2024年8月現在、一般選抜（共通テスト利用方式）が対象

まとめ

- 共通テストでは新教科「情報」の追加など、いくつかの変更点あり。
- 模試を活用し、出題・試験時間に慣れておくことが重要。
- 教科「情報」の個別試験での出題はわずか。私立大では情報を必須としない方式があるケースが多く、必須なのは国公立大志望者の共通テスト「情報」の対策。
- 共通テスト「情報」は全体で見れば影響は小さく、過度な心配は不要。配点の重さからも既存教科の対策に重点を。
- 個別試験の科目は実質変化なし。

とくに初年度は旧課程生への配慮で、出題を新旧両課程共通の範囲に絞る大学もある。

数学の「統計的な推測」など、本格的な出題は2年目以降となる見込み。